

# ワクチンの空白の効能書を指摘され驚く薬剤師：「確かに間違いだった」

Adan Salazar

December 24, 2021

<https://www.infowars.com/posts/pharmacist-shocked-to-discover-vaccine-inserts-are-blank-i-shouldnt-be-giving-these-out/>

⇒薬剤師が間違いを認め、顧客に対し、ワクチンの安全性についてウソをついていたと納得し、謝罪する。

ある薬剤師が、モデルナ製 Covid-19 ワクチンの説明書を開けてみて、完全に白紙なのを知ってひどく驚いたことが、社会メディアのビデオに、信じられないこととして出回っている。

CVS 薬局の店内のビデオの放映で、ある薬剤師が、客に、ワクチンの説明書を手渡し、ここには完全に検査された安全性のデータが入っている、と主張したのだが…

最後までご覧ください：——

この顧客（女性）が、（対応に出た）薬剤師がたった今、彼女に手渡した折りたたんだ紙は全く白紙だと告げると、彼は、その情報は中に書かれていると言い、それを彼女のために広げて見せようとした。

しかし、薬剤師がこの文書を広げると、それは自分の言葉に反して、大きな何も書かれていない紙だった。

薬剤師は狼狽して、コンピューターの方へ飛んでいき、その情報はオンラインで見つかるはずだと言ったが、このときまでにお芝居は終わった。信じられないことに、「情報を受けた合意」が、これでは成り立たないことを、顧客に突き付けられると、薬剤師は、自分がずっと顧客たちにウソをついていたことを納得し、それが詐欺であることを白状した。

「では、もし我々が、自分に何が注射されているのかわからないのなら、それがどうして〈情報を受けた合意〉なのか、わかりませんか」と、顧客は指摘した。

「全く言われる通りです、間違いありません。私は全くこのワクチンを投与すべきではなかったです」と、薬剤師は納得した。

「なぜそんなことをしたのですか？」と顧客は詰め寄った。

「それは私が…私がそうするように言われて、そのやり方で…そのように言われて」、薬剤師は口ごもって、付け加えた、「そして私の与えたものすべては、私がそれを与えた患者も含めて、それは安全だと…」

このフィルム記録では、薬剤師は謝罪し、自分の言葉を根拠づける科学的研究を、自分はいしていない、「全く薬剤師の資格がない」と自分は思っている、と最後に言っている。

遡ってこの5月に、同じような事件が、別のビデオで評判になり、ジョンソン&ジョンソンのCovid ワクチンの箱を開けた薬剤師が、パッケージの説明書きを広げると、それが完全に空白だったことがあった。

明かに、ワクチン製造業者は、安全性や効果のデータがどうだろうと、含有物が何だろうと、一般人に対して関心がないようだ。問題は——**なぜか**である。

#### [訳者 Greatchain によるコメント]

これは2度にわたって同じことが起こっているのだから、言い訳はできない。  
<https://www.dcsociety.org/2012/info2012/210512.pdf> 明らかに意図的犯罪であり、民衆を愚弄するものである。

翻って、わが国ではどうなのか？ わが国では、おそらく英語で書かれた能書きなど、誰も読まないのだから、初めからすべて白紙なのではないだろうか？ もし、すべてのワクチン接種者が、注射に「白紙委任」を与えていたとして、もしそれが有効と認められるなら、日本人に起こったいかなる事故にも、アメリカは責任を負わないことになる。そして、もともとそれが狙いだったことが、政府にはわかっていたであろう。もしそうなら、アメリカの市民にとっては、激しい怒りであることが、日本では何も起こらないことになるだろう。そして世界一平和な国民だと、日本は讃えられるであろう。

この「白紙の能書き」事件によってわかってきたこと——それは、Covid ワクチンであろうと、子宮頸がんワクチンであろうと、ワクチンを受ける以上は「情報を得た上での

合意」すなわち informed consent の概念が、織り込み済みであったこと、実験用モルモットであることが当然であったことである。このワクチン運動が一つの巧妙に仕組まれた文化であるとするなら、この「文化」に生きるということは、死ねと言われたら潔く死ぬこと、めそめそしないことである――。

しかしこの美德は自然の美德ではない。誰かが巧妙に仕組んだものである。そして今、それに気づき、それに怒り、それを大声で呼びかける人々が、世界的に圧倒的な力を持つようになってきた。偽善者どもが次々に暴かれ、明かに勢力を失っている。我々はそれを知っていなければならない。その勢いに乗らなければならない。たとえ英語が苦手であろうと、それを教える人々はいくらでもいる。また、どのような勢力がどう動いて、どのように我々をたぶらかしているのかを、知らなければならない。

## WHO 局長は、ブースターは「子供を殺すため」と言った？

フロイド的な口の滑りか？

Alan Salazar

December 22, 2021

<https://www.infowars.com/posts/freudian-slip-w-h-o-director-says-covid-boosters-being-used-to-kill-children/>

⇒WHO（世界保健組織）局長が、誤って、それを静かにはっきり言った？

⇒「いくつかの国では、ブースターを、子どもたちを殺すために使っているが、それは間違っている」と、テドロス局長は言った。

アップデート：リベラルな「ファクト・チェック」サイト [Snopes](https://www.snopes.com) は、WHO のテドロス局長の言葉について報道の「誤り」を主張し、BBC は、「テドロスは“kill”と言ったのではない、そんなことは何も言わなかった」と、BBC の立場を主張した！

<https://www.snopes.com/fact-check/who-kill-children-covid-19-vaccines/>

BBC を通じて、WHO の滑稽な説明を読んでみよう：――

WHO のスポークスマンは BBC に対し、Dr. テドロス・ゲブレイサスは、「最初の chil というシラブルに引っかかり、それが chil/kil のような音声になって発せられたのだと言った。

「彼は同じシラブルを繰り返すが、そのたびに cil-children と聞こえる。これ以外のどんな解釈も 100 パーセント間違っている。」

下の記事に言われているように、ユーチューブから聞こえる音声でさえ、テドロスは間違いなく、kill children（子供を殺す）と言っていて、WHO がすべての人々に信じさせようとするように、cil-children とは言っていない・・・

**【訳者コメント】** これ以上は、音声録音を聴けばわかることだから翻訳しないが、テドロスは、はっきりと「いくつかの国は、子どもたちを殺すためにブースターを使っている」と言っている。彼は国連の責任ある地位についているのだから、我々よりも、事実をよく知っているだろう。その彼がうっかり、言うべきでない、本当のことを言ってしまう、WHO が慌てたということは、大いにありうる。グローバリスト・サタンに牛耳られた、アメリカとその従属国の狙いは、ペドフィリアを含めて、子供を殺す（霊的に子供を奪う）ことに中心があると考えられ、それはワクチンを使って最も有効に実現できるだろう。

イラクの子ともたちを大量に死なせた、英元首相トニー・ブレアが、意図的に「セイブ・ザ・チルドレン」という子供のための施設から、功労者として表彰されたことがある。このときばかりは、イギリスの民衆が怒って抗議運動をしたが、関係者の謝罪だけで、賞の取り消しには至らなかった。<https://www.dcsociety.org/2012/info2012/150304.pdf>